

|発行者|妙高市企画政策課

|お問い合わせ|妙高市企画政策課 〒944-8686 新潟県妙高市栄町5番1号 [TEL]0255-74-0005 [FAX]0255-72-9841

| 妙高市SDGs公式サイト | https://myokosdgs.jp/ | インスタグラム | https://www.instagram.com/myoko_sdgs_action

















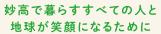
































2030年を想像してみてください。

みなさんは、どこで、どんな暮らしをしているでしょうか。

どんな自分、どんな世界を想像しますか。

SDGsは、地球の未来、みんなの未来をつくる「道標」です。



「SDGs」ってなんだろう? どうして今「SDGs」が必要なの?

地球上の誰もが、 ずっと幸せに暮らし続けるための 世界の約束です。

意えるという。 気候変動による異常気象、海や森などの自然環境の破壊や汚染、 新型コロナウイルスなどの感染症、経済成長による格差の拡大、 資困や飢餓、差別、終わりの見えない紛争など。

SDGsは、世界が抱えるこれらの問題を解決し、世界中の人々が、 幸せにずっと暮らし続けるために、

SDGsの基本的な考え方は「誰一人取り残さない」です。

これからは、先進国も発展途上国も関係なく、すべての国と人が協力して、 また。 せかい め ぎ こうどう 新しい世界を目指し行動していくことが必要なのです。

SDGsは誰が取り組むの?

私たち一人ひとりです。

世界を変えるための大きな目標だと思うと、なかなか自分ごとに感じられないかもしれません。 しかし、大きな目標だからこそ世界のすべての人たちが力を合わせることが必要です。 一人ひとりがSDGsを理解し取組を始めることで大きな目標の達成に近づきます。

一人ひとりの「自分ごと」を みつけよう!

SDGsには17個の日標がありますが、日標にたどり着く方法は、人それぞれ。 未来の世界、未来の自分を想像しながら、まずは今の自分に何ができるのか考えましょう。 それがSDGsの第一歩になります。

はじめから17個の目標すべてについて考えるのは大変です。

った。 次のページからはじまる、「妙高市のSDGs 17チャレンジ」を参考にして、

自分にできることから実践してみてください。

私たち一人ひとりの小さな毎日の行動が、地球を笑顔にし、

2030年、そしてその先の未来に向かって、

一人ひとりの確かな歩みを進めていきましょう。

は そ の



SDGs 妙高























































妙高市のSDGs チャレンジトトト

1	質困をなくそう	Р6
2	飢餓をゼロに	P7
3	すべての人に健康と福祉を	P8
4	質の高い教育をみんなに	Р9
5	ジェンダー平等を実現しよう	P10
6	安全な水とトイレを世界中に	P11
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	P12
8	働きがいも 経済成長も	P13
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	P14
10	人や国の不平等をなくそう	P15
11	住み続けられるまちづくりを	P16
12	つくる責任 つかう責任	P17
13	気候変動に具体的な対策を	P18
14	海の豊かさを守ろう	P19
15	陸の豊かさも守ろう	P20
16	平和と公正をすべての人に	P21
17	パートナーシップで目標を達成しよう	P22
小学校・中学校の児童・生徒も取り組んでいます!		P23
SDGs未来都市妙高オリジナルロゴマーク決定!		P25
私たちのSDGs未来都市妙高行動宣言!		P27
市長メッセージ		P29

1 貧困を なくそう

ひんこん 貧困をなくそう

世界の貧困の問題を解決するのは、持続可能な社会 を実現するための第一歩です。また日本国内でも7人 に1人の子どもが平均的な暮らしを送ることができない であり、身近な支援が求められています。 賞困状態であり、身近な支援が求められています。



こわたしたちにもできること -

地域みんなで協力して 助け合おう

地域の人々と交流を深めるこ とは、地域内で困っている人 や助けを必要としている人を 取り残さない社会づくりの一 環です。



使わなくなった 制服などを寄付しよう

すべての子どもたちが笑顔で 学校へ行けるよう、使わなく なった制服・体操着、ランドセ ルなどを寄付しましょう。



フェアトレードの 商品を購入しよう

発展途上国の立場の弱い生 産者に正当な対価を払うフェ アトレードの商品を買うこと で、生産者の生活向上の助け になります。



妙高市社会福祉協議会 妙高おもちゃ病院

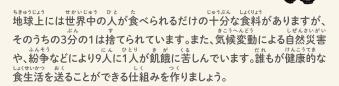
また。 まちちゃ ぜいかい やど 壊れた玩具に生命を宿しすべての子どもに笑顔を

壊れたおもちゃの修理をとおしてすべての子どもたちを笑顔にし、ものを大切 にする豊かな心を育み、貧困問題にも目を向けてほしいとの思いから、毎月第3 水曜日に「いきいきプラザ」で、第3土曜日に「わくわくランドあらい」で『おもちゃ 病院』を開院。ボランティアのおもちゃドクターが診察と修理を行っています。





飢餓をゼロに



- わたしたちにもできること

こども食堂の 取組を知ろう

地域の子どものみならず、お 年寄りまで利用できる食堂。 支援を必要としている人に、 こども食堂の正しい情報を 届けましょう。



妙高の郷土食について

学んでみよう 笹ずしやのっぺい汁、山もち

など、妙高市で昔から食べら れてきた郷土食について、 歴史や文化、作り方を学んで 食べてみましょう。



毎日食べる食品の 産地や生産方法を チェックしよう

日本は食料のほとんどを輸入 に頼っているにもかかわらず、 たくさんの食べ物を捨てている 「食品ロス大国」です。食品の 産地や生産方法を調べ、国産 の商品を選ぶことで、日本の農 業が活気づき食料自給率の アップにつながります。

自給 **37%**

63%

日本の食料

あいあう食堂

子どもの居場所づくりとフードロスの削減を目指す 2017年から、ひとり親家庭と新井南小学校区に住む子ども向けに 「あいあう食堂」を不定期で開催しています。また2020年からは、 市内のひとり親家庭を中心に食料品や日用品などを提供するフード シェアリング活動も行っています。





すべての人に健康と福祉を

がんせんしょう げんざい 新型コロナウイルス感染症をはじめ、現在でもエイズや けっかく でんせんびょう かんせんしょう おお ひと な 結核などの伝染病や感染症で多くの人が亡くなっています。 また日本では高齢化が進み、自立した日常生活を送れる 「健康寿命」を伸ばすための取組も求められています。



- わたしたちにもできること

運動の習慣化を 心がけて、 病気を未然に防ごう

ウォーキングイベントに参加 するなど、日頃から運動を続 けて生活習慣病にかからな いようにしましょう。



けんこうしんだん 健康診断、 検診を定期的に受けよう

市や会社で行われる健康診 断や検診を受けることで、 健康に対する意識が高まり、 病気を未然に防ぐとともに、 病気を早期に発見すること ができます。



地域のお年寄りを 覚守ろう

日本では、一人暮らしのお年 寄りが社会的に孤立してしま うことが問題になっています。 近所のお年寄りと日頃から挨 拶をし合うなど、もしもの時に 気づくことができる関係性を 築きましょう。



じょんのび茶会

季節を感じるイベントなど集いの場を提供

毎月1回、地域の人々が気軽に集い、おしゃべりを楽しめるふれあい サロンを開催しています。季節に合わせたイベントや講演会、健康づ くりなども行っています。また希望者にはボランティアで送迎を実施。 外出機会の増加にもつながっています。



質の高い教育をみんなに

だもたちがいます。誰もが公平に良い教育を受けられるよ うに、また生涯にわたって学習できる機会を広めましょう。



わたしたちにもできること

市やボランティア団体が

主催する講座や 勉強会に参加してみよう 興味がある生涯学習などの

プログラムについて広報誌 やインターネットで探して、 参加してみましょう。市では 「まなびの杜」を開催してい ます。



図書館に行って日本や 世界の現状について 調べよう

図書館は誰もが利用できる 知識の宝庫。日本や世界では 現在どのような問題が起こっ ているのか調べてみましょう。



推進しよう

郷土の恵まれた自然や歴 史・文化、人などの教育資源 を生かした協働的な学びを 通して、郷土のよさを実感し ましょう。



国際自然環境アウトドア専門学校「みょうこう野遊び塾」

妙高の自然を生かし、子どもたちの生きる力を育む

小学生を対象に野遊びをキーワードにした日帰りの自然体験講座 を年6回、宿泊型の体験講座を年2回開催。夏はリバートレッキング や宿泊登山、冬は雪上キャンプなど本格的な冒険活動を通して、子 どもたちの成長を促す場を提供しています。



生きる力と郷土愛を 育む「ほんもの教育」を





ジェンダー平等を実現しよう

働き方や家事の分担などにおいて、いまだに性別による 本びょうどう のこ にほん だんじょかくさ せんしんこく せかい 不平等が残っており、日本の男女格差は先進国でも世界 156カ国中120位と低いレベルとなっています。すべての人 びょうどう かっゃく ここち く しゃかい めざが 平等に活躍でき、心地よく暮らせる社会を目指しましょう。



わたしたちにもできること

妙高市 女性人材リストに

登録をしてみませんか 市では、審議会や委員会な どへの委員参画や、各種講 座での講師など、女性の活

躍の場を広げてもらうことを 目的に、女性人材リストを作 成しています。



自分の好きなことに チャレンジしよう

男だから、女だからといった世 の中のイメージにとらわれず、 自分のやりたい事・好きなこと を見つけて挑戦してみましょう。



LGBTOの理解を 深めよう

「LGBTQ」という言葉を聞い たことがありますか?性はと ても多様なものです。そのあ り方に正解やルールはありま せん。お互いの違いを認め、 尊重し合うことが大切です。

- Lesbian レズビアン、女性同性愛者
- G Gay ゲイ、男性同性愛者
- Bisexual バイセクシュアル、両性愛者
- Transgender 身体と心の性が一致しない人
- Queer PQuestioning

身体の性とは別に、 心の性が定まっていない人など

岡田麻梨亜さん、巧さん

育児休業制度を利用し、夫婦で子育てを楽しむ

子どもの成長を感じる貴重な時間を一緒に過ごしたいと、出産に合わ せ夫婦そろって1年間の育児休業を取得した岡田さん夫妻。家事も育 児も二人でやれば余裕が生まれ、楽しみながら子育てができると 日々、成長していく愛娘との生活を満喫しています。



安全な水とトイレを世界中に

世界には水質汚染や水不足で苦しむ人々が多くいます。水 たいせつ つか みず はぐく しんりん かせん こしょう を大切に使うとともに、きれいな水を育む森林や河川、湖沼 などの生態系の保護や回復に力を入れましょう。



- わたしたちにもできること

水を大切に使おう

洗濯に残り湯を使う、食器を 洗い流すとき以外は水を止 めるなど、必要以上の水は使 わず節水して、水を大切に使 う習慣を身につけましょう。



シャワーを1分短縮するだけで 2Lペットボトル6本分の節水

油などを直接排水溝へ 流さないようにしよう

水質汚染の原因の一つであ る生活排水の汚れを分解する ためには大量の水が必要で す。油は拭き取るなどして、排 水溝に流す汚水の量を減ら しましょう。



笹ヶ峰ダムに 行ってみよう

地域の大切な水源である 笹ヶ峰ダムやガス水道管理 センター(志浄水場)を見学 して、自分たちの生活用水は どのように供給されるかを知 りましょう。



マルニジーンズ マルニ株式会社 代表 西脇謙吾さん

豊富な雪解け水が生み出す新たな妙高ブランド

2017年から敷地内に湧き出す地下水に「生デニム」を漬け込み、 さらに雪の上にさらすという新潟独自の技法「雪さらし」を取り入れた 製品づくりをしています。日本有数の豪雪地帯という立地を生かし、 節水しながら妙高ならではのブランドづくりに取り組んでいます。



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

電力は私たちの生活を豊かにすると同時に、排出される温室 効果ガスによって地球環境に重大な問題を起こします。電力 のムダづかいをやめる省エネを意識した生活を心がけましょう。



わたしたちにもできること

電気のオンオフ、 コンセントを抜く

使っていない電化製品のコ ンセントを抜いたり、省エネ 商品を選んだりして、電力の 無駄遣いをやめる意識をし ましょう。



再生可能エネルギーを 活用しよう

太陽光発電は、家庭でも導入で きる再生可能エネルギーです。 ソーラーパネルの設置で、自宅 の電気をまかなうことができ ます。市では環境に配慮した持 続可能な住まいづくりの支援を



雪を利用した 天然冷蔵庫を活用しよう

> 雪は天然の冷蔵庫です。冷 やして飲みたいドリンクやお 酒も、雪の中に入れておけば キンキンに。知恵と工夫で楽 しみながら電力削減に取り組 みましょう。



後藤凌雅さん、沙弥香さん

省エネ+創エネで快適な暮らしを実現



働きがいも 経済成長も

けいざい せいちょう 経済成長も

持続可能な経済成長のためには、生産性を高めた産業の 拡大と、ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい 雇用)の推進が不可欠です。また、ワークライフバランス しょくばかんきょう かいぜん じゅうよう を考えた職場環境の改善も重要です。



わたしたちにもできること

ICTなどテクノロジーを 利用して、生産性の 向上・残業時間の削減に 取り組もう

今まで人力で行ってきたこと の一部を、ICTなどのテクノ ロジーに任せることで、生産 性の向上や残業時間の削減 を実現しましょう。



テレワーク・ ワーケーションを 積極的に導入しよう

時間と場所にとらわれない 柔軟な働き方ができる、テレ ワークやワーケーションを取り 入れ、ワークライフバランスを 向上させましょう。



誰もが働ける 社会をつくろう

近年、 障がい者の働く場の 拡大により、活躍の幅も広 がってきています。地域で多 様な人が活躍できる環境づ くりに努めましょう。



「心のままアート展」作品

株式会社リクルート 岡本裕野さん

好きな場所で好きな仕事を

自然環境と地域産業の可能性に惹かれ、昨年家族とともに妙高高原に移住。 夫婦ともに東京の会社に所属しながら、リモートワークで業務をこなしてい ます。出社が当たり前の頃と比べ、時間的余裕が生まれ、子育てや趣味も 充実。妙高には、仕事も豊かな生活も妥協せずに選択できる環境があります。





さんぎょう ぎじゅつかくしん

すべての人々が公平に使えるインフラの整備は公共の福祉や 経済発展にも重要な役割を持ちます。高品質で災害にも強く、 かつ環境に配慮したインフラや技術革新が求められます。



- わたしたちにもできること

地場産業を 応援しよう

地元の産品や地元で作られ た商品を買うことは地元の農 家や産業の応援になります。 まずは「妙高あっぱれ逸品」 をチェックしてみましょう。



自分たちの生活を 支えるインフラ設備を 理解しよう

妙高市の水道水はどこから きているのか等、普段何気な く使用しているインフラにつ いて知ることは大切です。



デジタルシフトに 取り組もう

AIやドローンの活用などの デジタルシフトへの取組が、 持続可能な産業化の推進に つながります。





雪を利用した天然の冷蔵庫で地場商品に高付加価値を

雪が多い地域の特性を生かし、道の駅あらいの拡張エリアに新た に雪室を整備しました。年間通して室温1~3度、湿度90%以上とい う安定した環境の中で日本酒や米、野菜、そばの実などを保管。雪室 で鮮度を維持した食品は農産物直売所で販売しています。



10 AやBの不平等 をなくそう

人や国の不平等をなくそう

なまなかなかなかなかなからない。 とんしゅ みんぞく せいろう ねんれい しゅうしん 貧富の格差拡大のほか、人種や民族、性別や年齢、出身や障がいなどによる差別が問題となっています。誰もがびようどのはなります。 かまず ときがな 権利を持ち、みんなで支え合う社会を目指しましょう。



11 住み続けられる まちつくりを

・ 住み続けられるまちづくりを

こうどもや女性、障がいを持つ人々や高齢者など、誰もが ないがいった。 ないで、 はいで、 はいで



わたしたちにもできること

手話や音訳、点字などに 興味を持ち学んでみよう

手話や音訳、点字を覚えて、 耳の聞こえない人、目が見え ない人が暮らしやすいインフ ラについて考えましょう。市で は、手話言語条例を制定する など、すべての市民が共に生 きる地域社会の実現を目指 しています。



サポートを 必要とする人の ヘルプに耳をすませよう

お年寄りや子ども、心身の不 自由な人や体調不良の方な ど、困っているときには積極的 に声を掛け、お互いに助け合 える社会にしていきましょう。



お互いの違いを認め、 理解し合える 社会にしよう

世界の国、人種、宗教、性別、 文化、考え方の違いを知り、 認め合うことで不要な争い やすれ違いを避けることが できます。



手話サークル あじさい

手話を通じて聞こえない人たちの理解を深める会

毎週火曜日、いきいきブラザを会場に聴覚障がい者(ろう者)とのコミュニケーションを図ることを目的に活動しています。名前の由来は、あじさいのように一人ひとりが力を合わせれば、何かをできるのではないかという想いがこめられています。手話を使ったゲームや学習会、交流会などを実施しており、年齢・性別関係なくどなたでも参加大歓迎です。



- わたしたちにもできること

妙高単山応援団による 地域の共助活動に 参加しよう

過疎化や高齢化により、運営が難しくなった地域行事や草刈り等の共同作業を支える妙高里山応援団。活動の応援、参加をしてみませんか。



雪や災害への対策は、地域ぐるみでの協力が不可欠です。 ルールを守り、助け合い、住 みよいまちづくりに取り組ん でいきましょう。



地域の行事に 参加しよう

地域行事の参加は、子どもたちの交流の場を作るだけでなく、文化や取組を次世代に引継ぐ役割を持っています。



妙高市白山町町内会

町内会独自に資源の有効活用に取り組む

1999年から地域住民と回収業者の協力を得て、町内独自でアルミ 缶の回収をスタート。各回収拠点に集めたアルミ缶は資源回収業者が引き取り、売却資金は町内会の活動資金として活用しています。 この活動を通し住民のリサイクルへの意識も向上しました。



つくる青仟 つかう青仟

でんねん しげん しゃくてき こうりつ つか せいさん 限られた天然資源を持続的に効率よく使うため、生産 また。 しょうひしゃ ひとり いしき こうどう オも消費者も一人ひとりが意識して行動しなければな りません。食べ残しを減らすなど、有害なごみの排出を へ 減らすよう努力しましょう。



- わたしたちにもできること

買い物は必要な物を

必要なときに 必要な分だけにしよう

ごみをできる限り出さない生 活スタイル「ゼロウェイスト」 を推進しています。量り売り やプラスチック包装をしない お店を利用し、必要な分だけ の買い物を心がけましょう。



「Rのお店」で 買い物をしよう

市では積極的にごみを減らす 取組をしている店舗を「ごみ 減量・リサイクル推進店」 (通称「Rのお店」)に認定 しています。



アール Rのお店 リュース (減量) リュース (再利用) リサイクル (再生)

「もったいない!食べ残し ゼロ運動協力店」に

登録しよう

小盛りや持ち帰り容器提供な ど、食べ残しゼロを目指すお 店を、HP等で周知しています。 登録いただくことで環境配慮 のPRや生ごみ処理にかかる



蕎麦処 文ざ

食品ロス削減にミニサイズメニューを活用

「もったいない!食べ残しゼロ運動」にも参加。ミニサイズメニューを 用意するほか、要望があればどの料理も量少なめに対応。また、 セルフオーダーシステムではご飯の量の選択を必須にするなど、 食べ残しを減らす仕組みづくりに取り組んでいます。





きこう へんどう

ぐたいてき

気候変動に具体的な対策を

まんじつこうか まんだんか じしん たいふう しぜんきい 温室効果ガスによる温暖化や地震、台風などの自然災 まんだんか ぼうし さいがいたいさく と く 温暖化防止や災害対策に取り組むとともに、個人でも 防災やエコの意識を持つことが大切です。



- わたしたちにもできること

脱炭素化に取り組もう

毎日の移動を環境負荷の 高いマイカーから、公共の 交通機関や徒歩、自転車等 の負荷の少ない方法に置 き換える「スマートムーブ」を 実践することで、二酸化炭 素の排出を削減できます。



森と里山を守ろう

森林は、光合成で二酸化炭 素を吸収し、酸素を作り出す ことから、地球温暖化の防止 に貢献しています。保全活動 に参加しましょう。



クールビズ・ ウォームビズを 実践しよう

3

気候に合わせたクールビズ やウォームビズを行い、冷暖 戻の過度の使用を抑えるよう に心がけましょう。



新井郵便局

みどりのカーテンで夏場の省エネルギー対策

ゴーヤのつるをガラス張りの壁面に這わせて、自然の力を利用した 「緑のカーテン」で夏場の省エネルギー対策に取り組んでいます。 日差しが和らぐため、室内の気温の上昇を抑えることができるほか、 お客さまからは花や実がなるのを楽しんでいただいています。



海の豊かさを守ろう

海洋ごみや汚染、漁業資源の乱獲によって海と沿岸 の生態系が危機にさらされています。魚介類などの 水産資源に影響のある生態系の回復のための活動や かんきょうほぜん かつどう せっきょくてき さんか 環境保全活動に積極的に参加しましょう。



こわたしたちにもできること

マイバックや

マイボトルを持ち歩こう

海に流れ込むプラスチック ごみは年間500万~1,300 万トンともいわれ、海洋生物 の死亡の原因や汚染の原因 となっています。



地域の清掃活動や 河川・海岸清掃に 参加しよう

プラスチックごみによる海洋 汚染が深刻な問題となって います。清掃活動に参加し、 ごみが海に流れていかない ようにしましょう。



環境にやさしい洗剤を 使おう

洗剤に含まれる化学物質は お皿や服をきれいにしても、 環境汚染の原因になること があります。また、洗剤を必要 以上に使用しないよう心が けましょう。



妙高高原北小学校

具体的な活動を通して海洋汚染問題に取り組む 総合的な学習の時間でSDGsについて学び、授業の一環として道 路清掃と直江津の海岸清掃を実施。1月に海洋プラスチック問題を 訴えるポスターを作成し、市民の皆さんに呼び掛ける活動を行いま した。学校では今後も環境を考える授業を続けていく予定です。





陸の豊かさも守ろう

きれいな水と空気をつくる森林の無秩序な大規模伐採 などの環境破壊や開発により、多くの生物たちが絶滅 の危機に瀕しています。一人ひとりが自然環境の保全 を意識し、自分にできることからはじめましょう。



- わたしたちにもできること

妙高高原

ビジターセンターの ガイドツアーに参加しよう

妙高高原ビジターセンター が主催する自然観察などの ガイドツアーに参加して、 妙高の自然に親しむ機会を 作りましょう。



環境サポーターズに 登録して火打山の ライチョウを救おう

妙高戸隠連山国立公園の 火打山に棲むニホンライチョウ を絶滅から救う活動に協力 しましょう。



植林活動に 参加しよう

手入れが行き届き、生き生きと した森林はきれいな水や空気 を生み出し、さまざまな動物や 植物たちが集まります。妙高山 麓の美しい森林を守るため、 植林活動に参加しましょう。



妙高里山保全クラブ

地道な里山の整備活動を通して生態系を守る

高床山森林公園や小丸山新田丘陵地を基点に、除伐、間伐、下草 刈りによる森林整備を行っています。活力あふれる里山林への更新 によって、里山としての植生環境の再生がみられてきました。また保 育園児や小学生の自然体験活動のサポートなども行っています。



平和と公正をすべての人に

世界には戦争や紛争、暴力によって生活や命を脅かさ れる人々がいます。平和で安心して暮らせる社会の実現 には、法律などの公正な制度を、誰もが平等に利用できる 社会をつくることが重要です。



わたしたちにもできること

平和について学ぼう

世界で起きている戦争や紛 争、歴史について調べて話し 合うことで、平和とは何かを 学びましょう。



子どもたちをいじめや 暴力から守ろう

いじめや暴力から子どもた ちを守るため、日ごろから見 守りや声掛けを行うなど、 地域全体で子どもの成長を サポートしていくことも必要



政治の役割について 考えよう

選挙の投票は世界であなた だけが持っている大切な意 思表示の権利です。また、家 族で政治への参加について 考える機会を設けましょう。



一般社団法人 妙高青年会議所

青色防犯パトロールで安全・安心なまちづくりに貢献

妙高青年会議所では小学校など子どもが遊ぶ地域を重点的に、青 色回転灯を装着した車両、通称「青パト」で自主防犯パトロールを実 施。地域全体の防犯意識向上につながるとともに、犯罪を行おうと する者に対する抑止効果にもなっています。



17 パートナーシップで 目標を達成しよう

パートナーシップで 目標を達成しよう

SDGsの達成のためには、国を超えた国際的な協力、 まぎょう じちたい きまざま だんたい わたし ひとり れんけい 企業や自治体、様々な団体や私たち一人ひとりが連携し ていくことがなにより大切なのです。



- わたしたちにもできること -

妙高市民の心を 推進しよう

家庭・学校・職場・地域が一 体となって思いやりや感謝の 気持ちなど、この地に脈々と 受け継がれてきた豊かな心 を継承し、広める「妙高市民の 心」にオール妙高で取り組み



市や企業のSDGsへの 取組を知ろう

市やあなたが通う学校、勤め る企業、近所の会社などでは どのような取組が行われて いるのか調べてみましょう。



学んだこと、考えたことを 発信していこう

SDGsについて学んだこと、 気づいたことを普段のコミュ ニケーションやSNSを通して 発信してみんなで共有し考 えていきましょう。



鮎正宗酒造株式会社

とは て く なが あい しょうひん かいほっ 老舗が手を組み、長く愛される商品を開発

日本酒の消費促進と妙高市ならではの名産品を作りたいと、地元 の老舗和菓子店「養老本舗 池田屋」とコラボ。より幅広い層に楽し んでもらえるよう「鮎正宗」「君の井」「千代の光」と妙高市内にある 3つの酒蔵の酒を使った「純米酒かすてら」を開発しました。



小学校・中学校の児童・生 徒も取り組んでいます!

〈 令和3年度の 取組を紹介 〉

川と生き、川に学ぶ

~内川から考える川とともに歩むこれからの生活~

斐太北小学校/4年生

内川に入って遊んだり生き物をつかまえたり歴 史を調べたりする中で、川の魅力を知り、治水や 利水、親水の役割があることを学習。きれいな 水が飲めない、トイレがない国や人がたくさん いること、日本でも水不足の問題が心配されて いることも知る。自分たちにできる川や水を大切 にするための取組を考え、多くの人に知ってもら いたいと発信、実践していく。 4 素の表に答案









地球を笑顔に にこにこ学年

妙高高原北小学校/4年生

自然との関わりから、自然の豊かさに気づき、大切に したいという気持ちをもった子どもたち。「森林学習」 や「無印良品」の見学から、SDGsに関わる多くの問 題があることを知った子どもたち。自分たちにもでき ることがないかを考えた結果・・・。「妙高高原」から



「直江津の海岸」までごみ拾いや「直江津海岸の清掃活動」を実践。「海洋プラスチック 問題」について、少しでも解決するための力になりたい!ポスターやTシャツを制作し、

妙高市や上越地域の皆さんに 問題解決のための取組を発信。













いつまでも大好き妙高高原

妙高高原中学校 1年生/2年生/3年生

●地域貢献活動

妙高高原駅前の緑化、スポーツ公園清掃活動など、 感謝の気持ちで住みよいまちづくりに貢献。

●修学旅行

新潟県内をめぐるマイクロツーリズムで新潟や妙高 の魅力を再発見。郷土の宝と働きがいを学習。

●妙光祭

コロナの影響を受けた観光産業などに元気になっても らいたいと新たに企画。地域とのコラボ商品"マドレー ヌやパウンドケーキ"を開発。イベント当日は大盛況!

SDGsの視点から居心地のよい学校づくりに取り組む。















2050年に妙高市を残そう

新井中学校/3年生

生徒が自ら地域の魅力や課題を見つけ、妙高市が生 き残るための方策を検討。全30班が、いつまでも住 み続けられる地域にするための

取組を動画にまとめ、提言として 市役所に発信。









妙高中学校/3年生

妙高地域を活性化させたいと、自慢の資源を 動画やパンフレットにまとめPR

- ●未来に残したい、多くの人に味わってもらいたい 「竹の子汁」や「山もち」のレシピを宣伝。
- ●地域の宝「関山神社」の魅力を宣伝。
- ●妙高でしか体験できない ワーケーションを動画で宣伝。











SDGs未来都市妙高 オリジナルロゴマーク決定!





「SDGs未来都市をテーマに未来の妙高市を想起させるオリジナルロゴマーク」が 公募により決定しました。最優秀賞、特別賞作品は、 妙高市のSDGs未来都市妙高のプロジェクトに活用していきます。



最優秀賞 倉本 容子さん(広島県)

コンセプトは「すべてはその手から ISDGsの17の目標と、妙高市が目指している人と自 然が共生する持続可能なまちづくりは、すべて一人ひとりの手から始まる、という意味 を込めたロゴマークを作成しました。二つの手を合わせて妙高市の頭文字「M」を表現 しています。すべてはその手から「始まる」すべてはその手から「作られる」すべては その手から「結ばれる」「すべてはその手から」の後に思い思いの言葉を付けることで、 持続可能な未来へ向けたまちづくりへの各々の考えを表現できます。一人ひとりが 考え、そしてその手から環境都市を創造することができる…そんなロゴマークです。



特別賞 是澤義隆さん(岡山県)

妙高山と、いもり池に映る逆さ妙高を図案化したマークです。妙高山麓をはじめとした豊か な自然を守りながら、経済と社会との好循環を生み出し、妙高市全体が豊かで継続可能 な未来に向かって発展していく様子を表現しました。



特別賞 大出光一さん(宮城県)

このデザインは、妙高市の周囲にある山々を象徴化して「妙高山」を代表として描き、その 姿を「いもり池」に映した様子として表現した図案になります。湖面に映る様子から、澄ん だ空気と自然の豊かさが感じられます。山がつくり出す自然環境が、麓に暮らす人々の生 活を豊かにし、大いなる恵みを与えています。周囲には、日本百名山で越後富士とも呼ば れる秀峰「妙高山」、その他にも日本最北で最小の個体群であるライチョウが生息する 「火打山」、春の女神と呼ばれるギフチョウが舞う姫川原地区の「高床山」など、山々が素晴 らしい環境をつくり、唯一無二の妙高市の魅力をつくっています。そうした自然と雄大な 四季の景観の魅力をSDGs17色で表現した図案になります。









私たちの SDGs未来都市妙高行動宣言!

2022年2月27日(日)に妙高市文化ホールで行われた「SDGs未来都市妙高推進フォーラム」において市民、企業、行政の各代表者からSDGs未来都市の行動宣言が読み上げられました。ここでは、その全文を紹介させていただきます。



市民代表

赤間さん ご家族

私たち人間の経済・社会活動によって、地球が悲鳴をあげていることが分かりました。 世界では、多くの若い世代がこの現状を自分事として、世界の指導者たちに訴えています。僕たちもこのまま、今までと同じことをやっていてはいけません。

大好きな家族・大好きな友達
世界の尊い命を守るため
妙高の素晴らしい自然・食・文化を
未来の子どもたちに引き継ぐため
気候危機の現状を他人事ではなく自分事として
私たちにもできる「SDGs」を
家族で話し合い、そして実践していきます。



事業所代

山﨑建設株式会社 山﨑 健太郎さん

私たちのような地方の企業こそ地域の繁栄を視野に入れて会社経営をしていかなければなりません。 SDGsに取り組むことは、企業にとって直接的に利益を生むものではありませんが、環境に配慮し、社会に貢献することで、経済を循環させ、地域を活性化させる。SDGsは社会全体のマネジメント機能を有しているものと思っています。また、地方の小さな企業であっても「自分たちの普段の仕事が国際社会に確実に繋がっている」と意識することも重要だと考えています。



私たちは、世界の未来のかたちである
「SDGs」の達成に貢献するとともに
地域や産業が抱える課題と向き合いながら
持続可能性を追求し、
みんなが笑顔で住み続けられる地域となるよう、
走り続けます。

3 _{行政} 妙高市

「誰一人取り残さない世界の実現」に向け、本当に大切なものは何かを考え、そして行動を起こし、持続可能な社会を実現していくことが今、求められています。

激甚化する自然災害、気候危機への対応は、今を生きる私たちの将来世代への責務であり、2030年 に向け、いかに実効性のある行動を起こせるかが、持続可能な世界への第一歩となります。

妙高市は「SDGs未来都市」として 市民・地域・事業所など、 すべての主体が主役となり、 脱炭素に向けた取組を 加速していくとともに、 官民共創による持続可能な まちづくりを先導し、 笑顔あふれる妙高を創り出していきます。



市長メッセージ

このたびの、「SDGs未来都市」及び「自治体 SDGsモデル事業」の選定につきましては、当市 の基本理念である「生命地域の創造」をより 具体的に加速していくうえで、大きな意味を持つ ものと感じております。

選定都市としての自覚と責任に立ち、SDGsの達成に率先して取り組むとともに、妙高で暮らすすべての人と地球が笑顔になる「サステナブルシティ妙高」の実現に向け、市民の皆様をはじめ、地域、事業者の皆様と手をとり合い、持続可能なまちづくりに邁進してまいります。

